

平成20年5月1日
能代河川国道事務所

平成20年度 能代河川国道事務所の事業概要（道路）について

【予算の概要】

租税特別措置法などの成立により財源の見通しがついたことから、管内各地域の経済情勢等に鑑み、これに対応する予算について早期に執行することとしたところであり、管内各地域の補助事業を優先するとともに、事務所直轄事業についても、事業全体の工程に遅れが生じないよう、迅速かつ効率的な執行に努めて参ります。

予算の執行にあたっては、「道路関係業務の執行のあり方改革本部最終報告書」（4月17日）に基づき、無駄の排除など、予算の厳格な執行に努めて参ります。

尚、能代河川国道事務所として平成20年度は道路事業費136億1700万円の当初予算により事業を進めます。

【主な事業の内容】

- 鷹巣大館道路 - 用地買収・工事の継続推進
- 日本海沿岸東北自動車道
大館北～小坂(新直轄区間) - 工事の継続推進

【道路関係当初予算の事業費内訳（単位：百万円）】

内 容	H19当初	H20当初	H20/H19
地域連携	10,693.0	7,432.0	0.70
地域連携（高速国道）	8,200.0	3,750.0	0.46
維持修繕	1,162.0	863.0	0.74
沿道環境	—	135.0	—
事故重点	425.0	597.0	1.40
交通安全	544.0	425.0	0.78
雪寒	320.0	415.0	1.30
道路関係合計	21,344.0	13,617.0	0.64

〈発表記者会：能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
能代市臈淵字一本柳97-1
TEL. 0185-70-1001(代表)

道路担当副所長	さいとう ふみのり 斉藤 文憲 (内線205)
工務第二課長	すずき ゆたか 鈴木 浩 (内線411)

一道路事業の概要一

《 地域連携推進事業 》

強い県北地域の創造と地域生活の安全安心の確保に向け、空港・港湾のカバー圏拡大、域内・域外交流の促進、第三次救急医療施設カバー圏の拡大、道路のネットワーク化による迂回路確保、国道7号の負荷低減による沿道環境の改善等に効果のある高規格幹線道路等の整備を進めます。

たかのすおおだて

鷹巣大館道路

【p2】

・北秋田市わきがみ脇神～北秋田市きたあきたししかえ栄間 L = 5.6 km

平成20年度は、用地買収に着手するとともに、設計・協議の継続推進を図ります。

・北秋田市栄～大館市ひつざき櫃崎間 L = 8.3 km

平成20年度は、用地買収・改良工事の継続推進を図ります。

《 地域連携推進事業（高速国道） 》

おおだてきた こさか
日本海沿岸東北自動車道 大館北～小坂

L = 14 km 【p3】

平成20年度は、改良工事・トンネル工事の継続推進を図ります。

《 直轄道路維持修繕事業 》

一般国道7号（管理区間L = 122.1 km：琴丘能代道路17.4km、大館西道路5.9km含）の道路を保全し、道路交通の安全と円滑化を図るため日常の維持管理、重要構造物の修繕など道路の機能を保持します。

また、これまでの震災や災害等を踏まえて実施した点検を受けて、対策が必要な箇所の整備実施を図り、防災対策及び橋梁の耐震補強対策を推進します。

《 沿道環境改善事業 》

沿道の良好な環境を確保するために、高機能舗装の修繕を行います。

《 交通事故重点対策事業 》

交通事故の多発区間の交通安全を確保するために、交差点・線形等の改良、標識の整備、区画線・防護柵等の設置を行います。

《 交通安全施設等整備事業 》

交通事故の発生箇所、渋滞箇所等交通安全を確保するために、交差点・線形等の改良、通学路区間等の歩道設置、わかりやすい標識の整備、区画線・防護柵等の設置を行います。

《 雪寒地域道路事業 》

冬期間の車道および歩道空間の確保のため、除排雪を実施するほか、防雪対策の実施をすすめる等、安全で快適な冬期交通確保を図ります。